

2016年3月期 第2四半期決算概要

NS 日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

2015年10月30日
(証券コード6157)

目次

1. 2016年3月期 業績予想見通しの変更	P. 2 … 業績予想見通しの変更
2. 2016年3月期第2四半期の業績	P. 3 … 第2四半期決算の概要 P. 4 … 営業利益の増減要因 P. 5 … 損益計算書サマリー P. 6 … 貸借対照表サマリー P. 7 … 四半期業績推移
3. 2016年3月期の重点戦略と 配当予想	P.13 … 2016年3月期の重点戦略 P.14 … 配当予想
<参考資料>	P.15 … 過去5年間の業績と主要データ推移 P.16 … 株価推移とバリュエーション P.17 … IR情報サイトのご案内

業績予想見通しの変更

(百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 期初予想	2016年3月期 今回予想	前期比	期初予想比
売上高	7,402	8,200	8,010	+8.2%	-2.3%
営業利益	1,481	1,630	1,780	+20.2%	+9.2%
経常利益	1,534	1,660	1,810	+18.0%	+9.0%
当期純利益	973	1,100	1,200	+23.3%	+9.1%
設備投資額	612	1,412	1,412	+130.7%	—
減価償却費	474	568	568	+19.6%	—
EPS	155.69円	175.95円	191.94円	+23.3%	+9.1%
1株当り配当金	40円	45円	45円	+12.5%	—

- 中国の景気減速や欧州自動車メーカーの排ガス不正問題の影響等から、下期の工具需要は一時的に弱含む可能性があるとして想定し、下期の売上計画を減額した結果、通期売上高は期初予想から2.3%の減少
- 一方、利益については、第2四半期累計期間の利益が計画を大きく上回ったことにより、下期の減少をカバーすると想定
- 前期比では増収・増益を確保すると見込む

第2四半期決算の概要

売上高・経常利益ともに 半期ベースの過去最高を更新

(百万円)

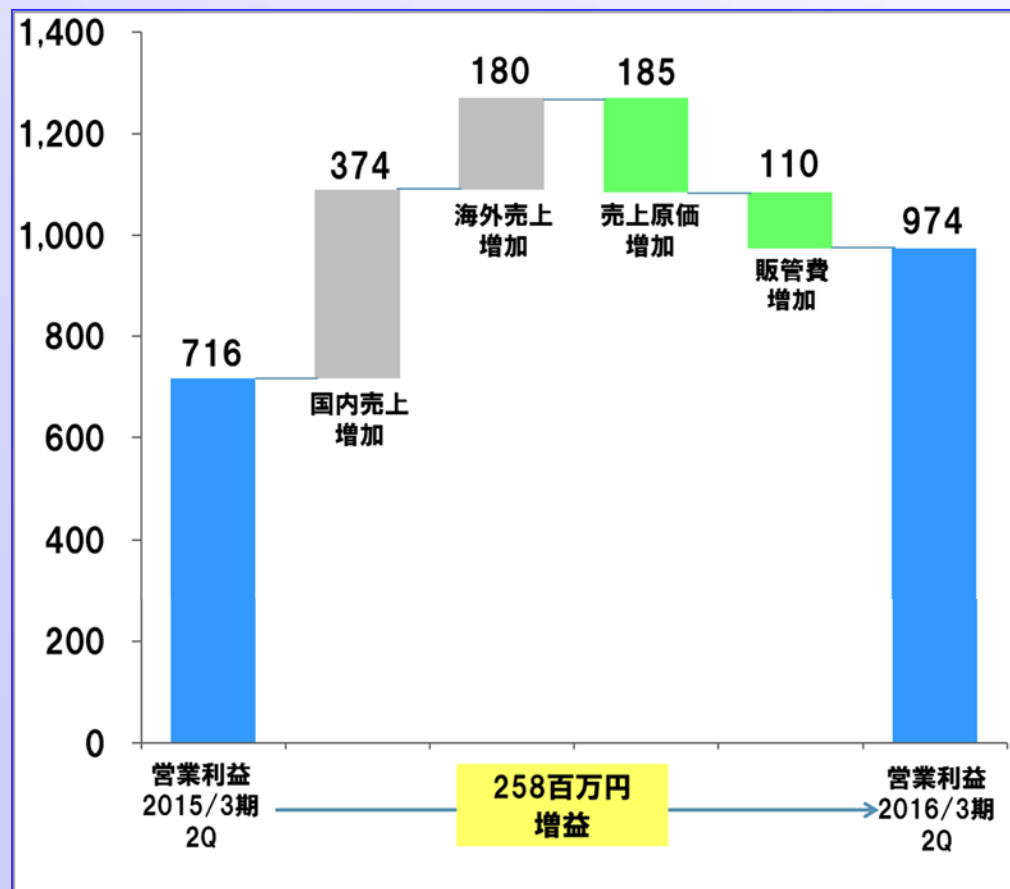
	2015年3月期 2Q累計	2016年3月期 2Q累計	通期予想	進捗率
売上高	3,548 (+15.6%)	4,104 (+15.7%)	8,010 (+8.2%)	51.2%
営業利益	716 (+49.0%)	974 (+36.2%)	1,780 (+20.2%)	54.7%
経常利益	752 (+50.3%)	1,007 (+34.0%)	1,810 (+18.0%)	55.6%
四半期純利益	483 (+49.4%)	670 (+38.7%)	1,200 (+23.3%)	55.8%

※()内は前年同期比増減率

- 中国市場の減速等マイナス要因はあったものの、米欧向けが好調な自動車関連、スマートフォンの新機種向けや車載システム向けが伸びている電子部品関連に牽引され、小径工具需要は堅調に推移
- 連結売上高は前年同期比15.7%増の4,104百万円。半期ベースの過去最高を更新。変更後の通期予想に対する進捗率は51.2%
- 連結経常利益は前年同期比34.0%増の1,007百万円。売上高同様半期ベースの過去最高を更新。変更後の通期予想に対する進捗率は55.6%

営業利益の増減要因

(百万円)



- 国内売上高は前年同期比 374百万円、13.5%アップ、一方海外は同180百万円、23.5%と国内の伸びを上回った。なお売上高全体では555百万円、15.7%の増加
- 555百万円の売上高増加に対して、売上原価と販管費の増加がそれぞれ185百万円と110百万円に止まったため、営業利益は258百万円の増加となった
- これにより営業利益は36.2%増加の974百万円。売上高営業利益率は3.6ポイント上昇し23.8%

損益計算書サマリー

(百万円)

	2015年3月期 2Q累計	2016年3月期 2Q累計	前年同期比
売上高	3,548	4,104	+15.7%
売上総利益 (率)	1,787 (50.4%)	2,157 (52.6%)	+20.7%
販管費 (率)	1,071 (30.2%)	1,182 (28.8%)	+10.3%
営業利益 (率)	716 (20.2%)	974 (23.8%)	+36.2%
経常利益 (率)	752 (21.2%)	1,007 (24.6%)	+34.0%
四半期純利益 (率)	483 (13.6%)	670 (16.3%)	+38.7%
設備投資額	303	483	+59.2%
減価償却費	226	221	-2.4%
従業員数	283人	280人	-1.1%

※()は売上高に対する比率

- 自動車や電子部品向けに牽引され、小径エンドミル需要が堅調に推移したことから、連結売上高は前年同期比15.7%増加し4,104百万円と半期での過去最高を更新
- 増産効果を主因に、売上総利益率が2.2ポイント向上したこともあり、売上総利益は前年同期比20.7%増加
- 販売管理費は前年同期比10.3%増加したが、販管費比率は28.8%と1.4ポイント低下
- これにより営業利益は前年同期比36.2%増加の974百万円。売上高営業利益率も23.8%と3.6ポイント向上

貸借対照表サマリー

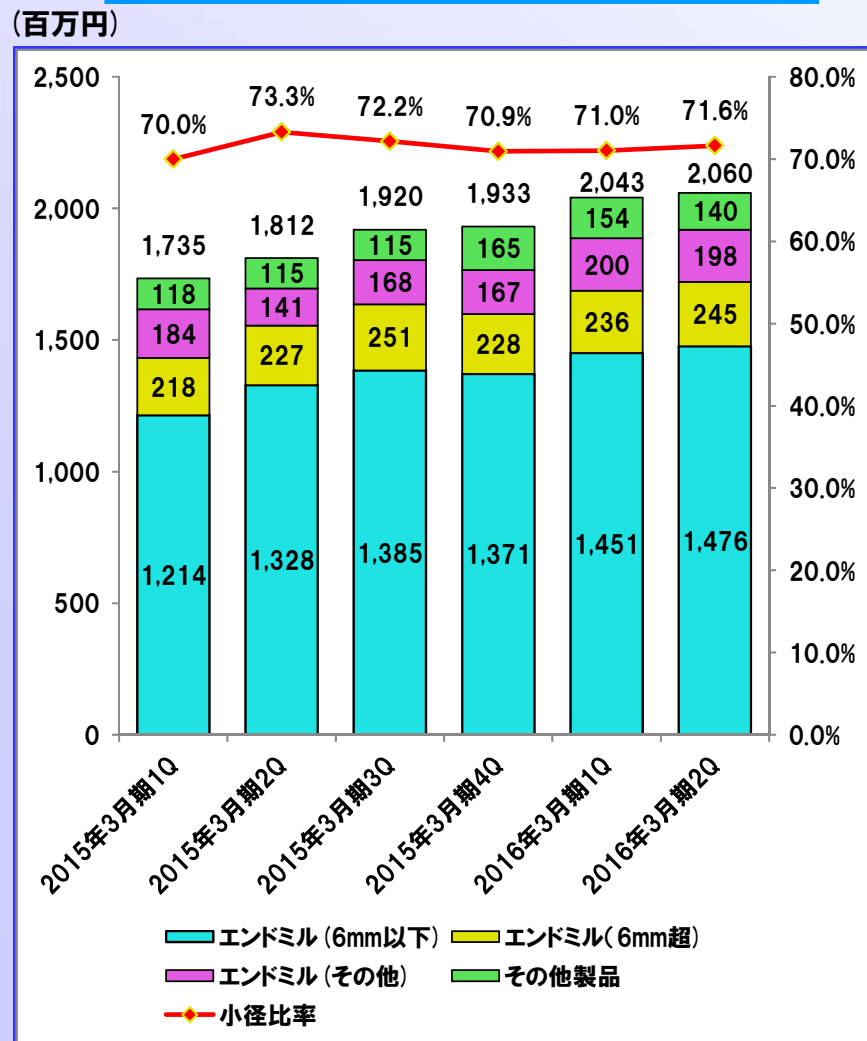
(百万円)

	2015年 3月期	構成比	2016年 3月期2Q	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	6,711	64.9%	6,695	63.8%	-0.2%
現金及び預金	3,716	35.9%	3,655	34.8%	-1.6%
受取手形及び売掛金	1,264	12.2%	1,306	12.4%	+3.4%
棚卸資産	1,509	14.6%	1,498	14.3%	-0.7%
II 固定資産	3,628	35.1%	3,805	36.2%	+4.9%
有形固定資産	3,172	30.7%	3,347	31.9%	+5.5%
無形固定資産	143	1.4%	140	1.3%	-1.7%
投資その他の資産	312	3.0%	317	3.0%	+1.5%
資産合計	10,339	100.0%	10,500	100.0%	+1.6%
(負債の部)					
I 流動負債	1,439	13.9%	1,158	11.0%	-19.5%
買掛金	277	2.7%	224	2.1%	-18.9%
II 固定負債	419	4.1%	440	4.2%	+5.1%
負債合計	1,858	18.0%	1,599	15.2%	-14.0%
(純資産の部)					
純資産合計	8,480	82.0%	8,901	84.8%	+5.0%
負債・純資産合計	10,339	100.0%	10,500	100.0%	+1.6%

- 流動資産では、法人税等の支払いにより現預金が減少した一方、売上増により売上債権が増加。棚卸資産は売上好調により製品在庫が減少した
- 固定資産は、新工場棟建設に伴う建設仮勘定や機械設備の増加から有形固定資産が増加
- 流動負債では未払金や未払法人税等が減少
- 純資産は5.0%増加し8,901百万円。負債の減少と純資産の増加により、自己資本比率は84.8%と2.8ポイント上昇

【四半期業績推移】売上高の推移① 製品別

製品別売上高と小径比率の推移

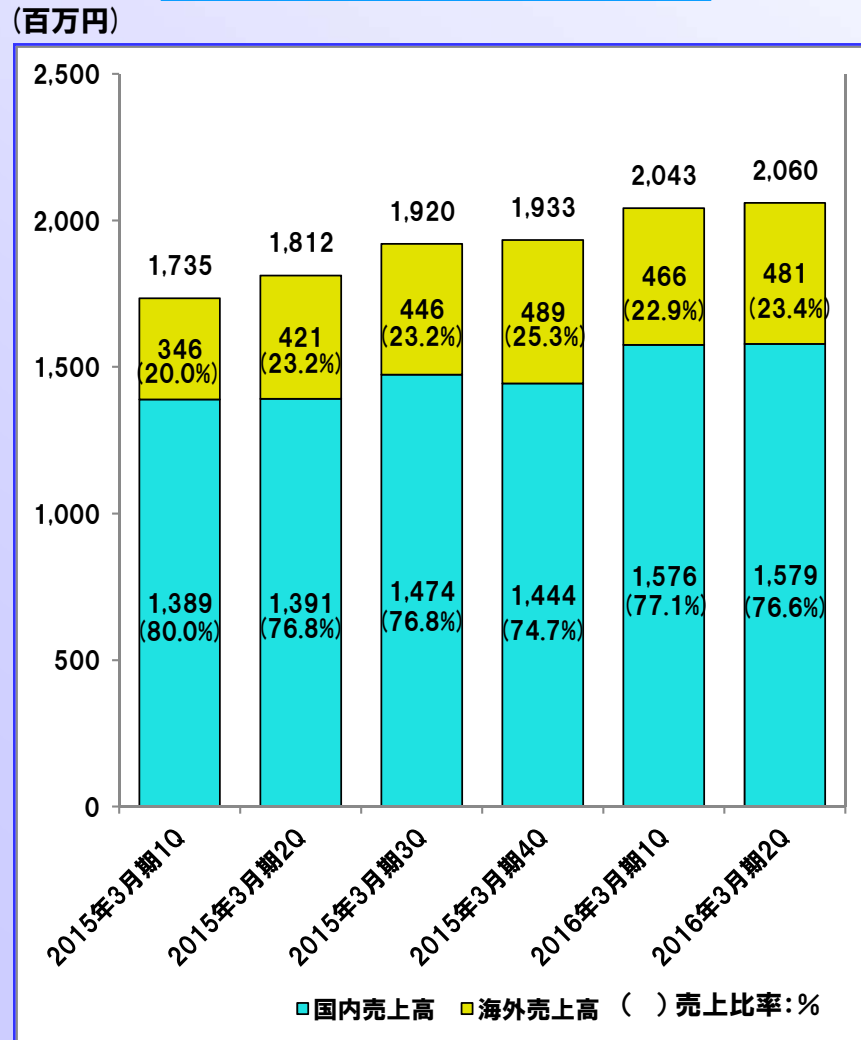


□ 小径エンドミル市場では堅調な需要環境が続き、当第2四半期における売上高は前年同期比+13.7%、前四半期比+0.9%となり、四半期ベースでの過去最高を更新した

□ 製品別では、エンドミル (6mm以下)、エンドミル (6mm超) が前四半期比で増加したが、エンドミル (その他) やその他製品は減少。これにより小径比率は71.6%と前四半期より0.6ポイントアップ。前年度の第2四半期はエンドミル (その他) の水準が低く、小径比率が高めであったため、前年同期比では1.7ポイントの減少となった

【四半期業績推移】売上高の推移② 国内・海外

国内・海外売上高の推移



□ 海外売上高は、量が多い中国向けの影響から前四半期に減少したが、当四半期は481百万円と回復

□ 一方国内は、米欧向けが好調な自動車関連、スマートフォンの新機種向けや車載システム向けが伸びている電子部品関連に牽引され順調に推移し、前四半期の水準をわずかながら上回り、四半期ベースでの過去最高を更新

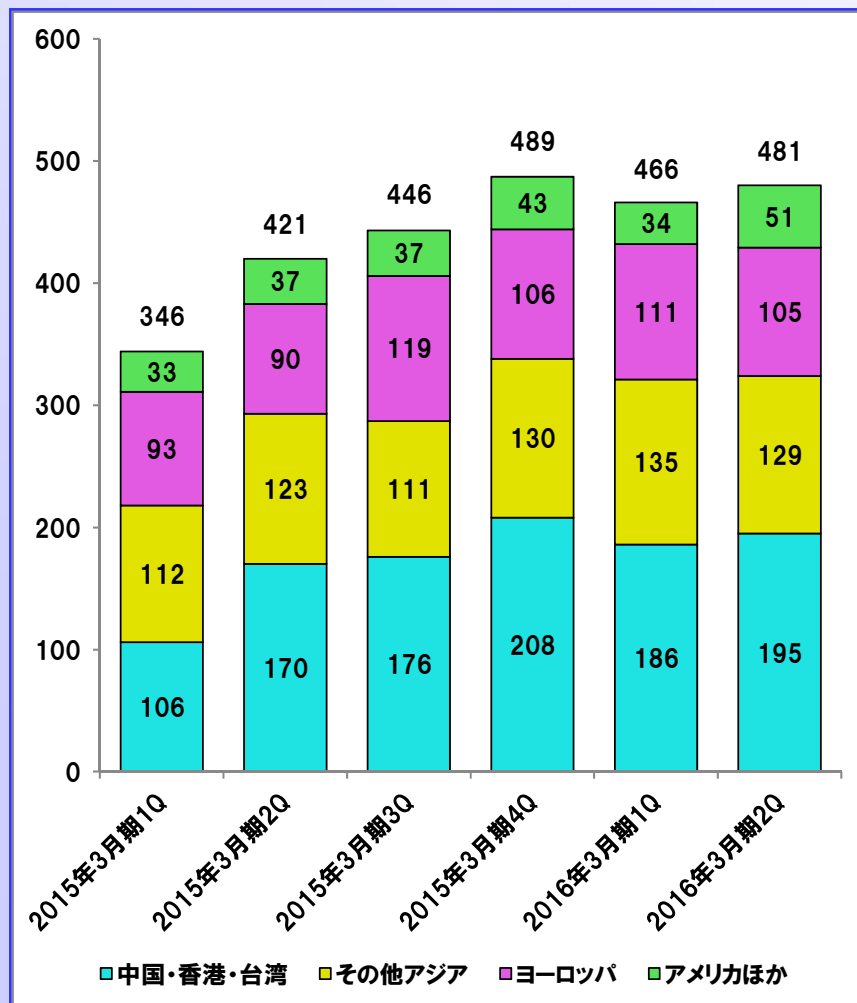
□ これにより、海外売上比率は前四半期の22.9%から23.4%へ0.5ポイントアップ

□ 下期は欧州自動車メーカーの排ガス不正問題が、我が国の自動車産業にどのように影響するか注意が必要

【四半期業績推移】売上高の推移③ 海外地域別

海外地域別売上高

(百万円)



□ 地域別で見るとまちまちの動きであった。

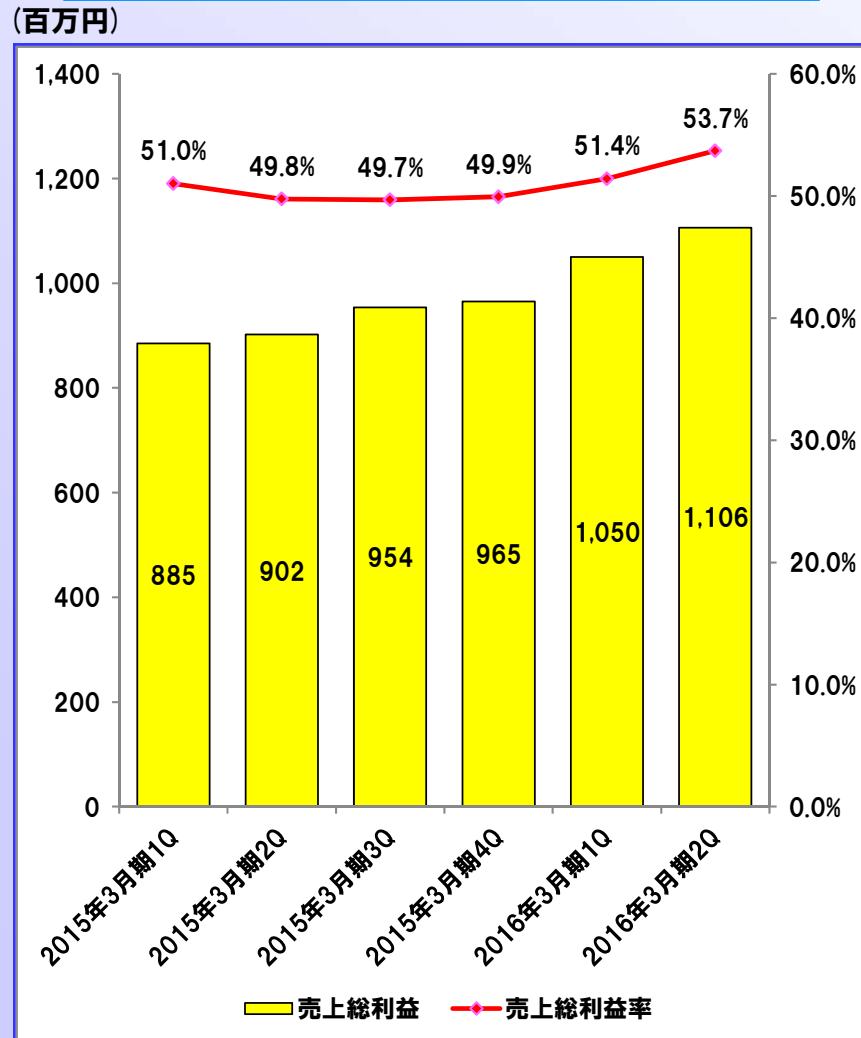
□ 中国・香港・台湾向けではスマートフォン関連が中心であり、やや厳しい感じであったが、主力スマートフォンの新機種向けでやや持ち直した

□ その他アジア (=中国・香港・台湾を除く地区) 向けは、中国の景気減速の影響等もあり、足踏み状態

□ ヨーロッパ向けは、ある程度の水準ではあるものの、一進一退での推移が続く

【四半期業績推移】売上総利益の推移

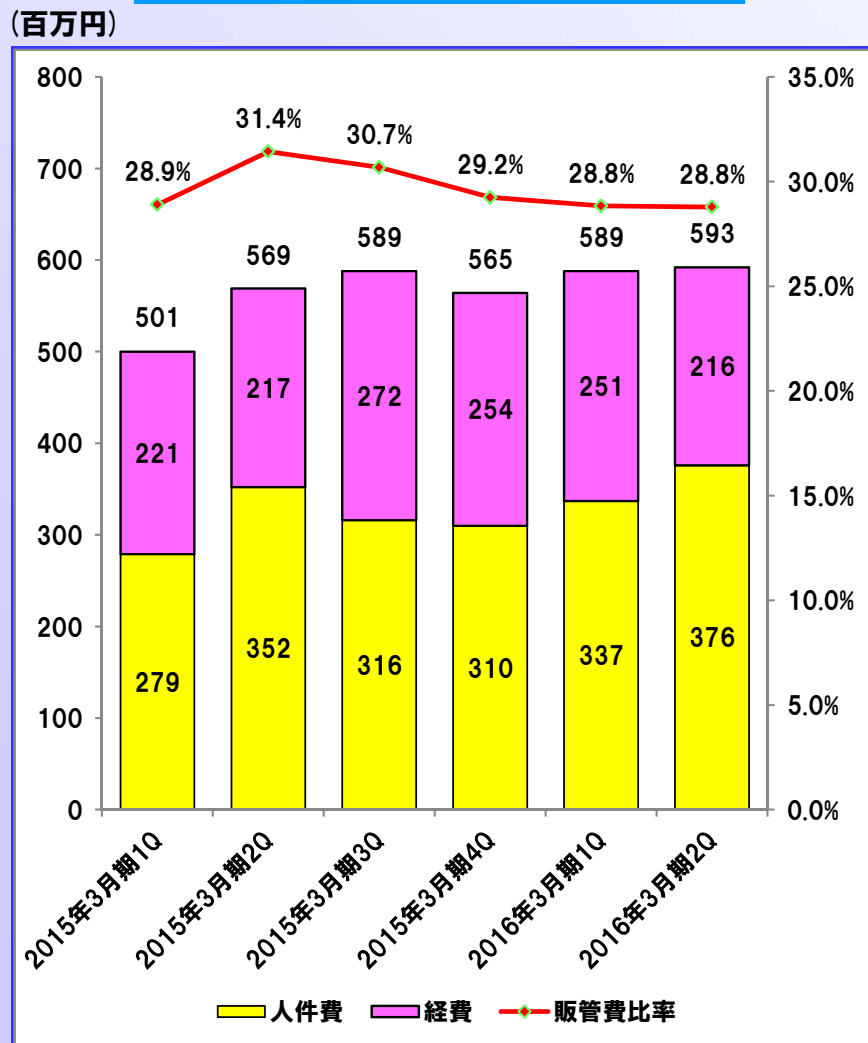
売上総利益と売上総利益率の推移



- 前年同期に比べ生産数量が増加したことから、変動費である原材料費と外注加工費が増加
- 組織変更による製造部門から開発部門への異動もあり、労務費が前年同期を若干下回った他、修繕費、減価償却費がわずかながら減少
- 売上原価は前年同期比4.8%の増加となったが、売上高が増える中 固定費の増加が限定的であったことから、売上原価率は46.3%へ低下
- これにより売上総利益は前年同期比22.7%増の1,106百万円。売上総利益率は3.9ポイント上昇して53.7%

【四半期業績推移】 販管費の推移

販管費と販管費比率の推移



□ 人件費は、技術部門の一部が生産部から開発部に移った影響（製造原価から販管費へ）や業績好調による賞与引当金の増加等から、前年同期比6.8%増加し376百万円

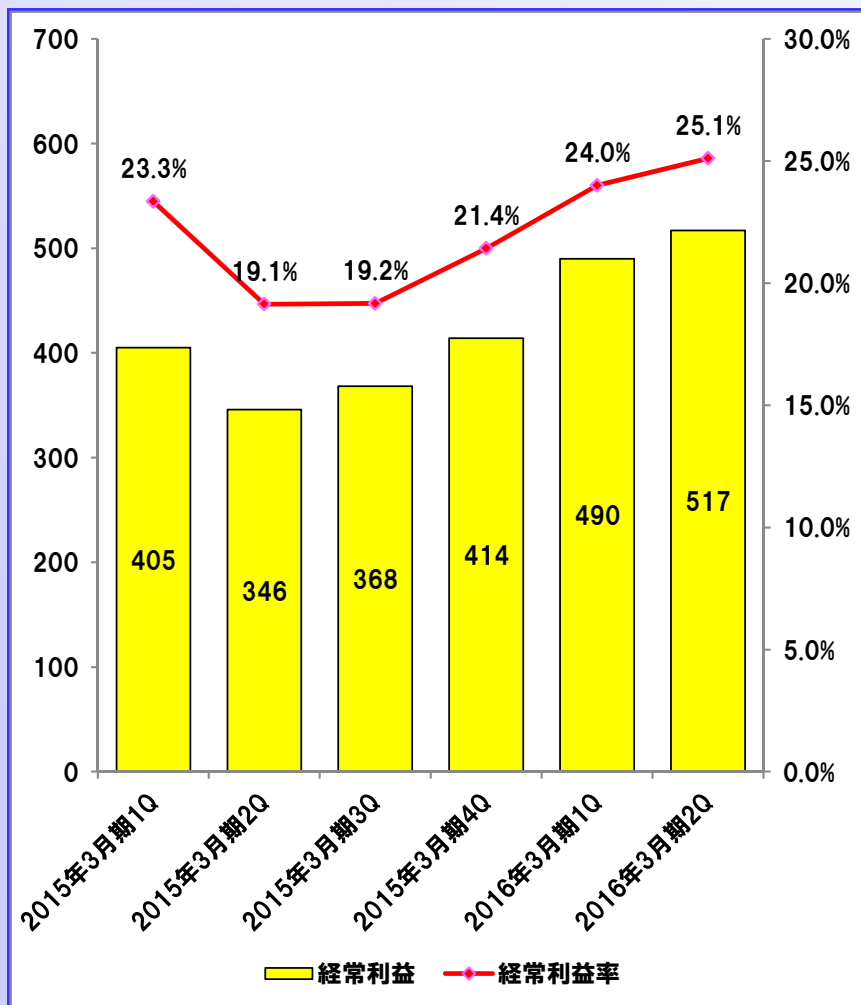
□ 一般経費では、前年同期に比べ減価償却や宣伝広告費が若干多かったものの、販売促進費等が減少し全体としては0.4%減少の216百万円とほぼ横ばい

□ これらにより販売管理費全体では前年同期比4.1%増加の593百万円。売上高販管費比率は第1四半期と同じ28.8%となり、目標の30%を下回った

【四半期業績推移】 経常利益の推移

経常利益と売上高経常利益率の推移

(百万円)



□ 好調な市場環境から売上高が順調に推移するなか、増産効果や自動化の推進により原価率が低下、また大きな展示会等が無かったことにより販管費比率も低下し、経常利益は517百万円と前年同期を49.1%上回り、四半期での過去最高を更新

□ 連結での売上高経常利益率は25.1%

2016年3月期の重点戦略

ポイント

人材

品質

- ✓ 優秀な人材の育成
- ✓ NS品質の維持向上

連結売上高80億円の達成と
経常利益率20%の確保

人材:精密・微細加工に
特化した専門家集団

品質:精度と安定性への
飽くなき取り組み

生産

自動化の推進
製造技術向上による
更なる高精度化の実現

販売

新規ユーザーの開拓
既存ユーザーの深耕
海外市場の拡大

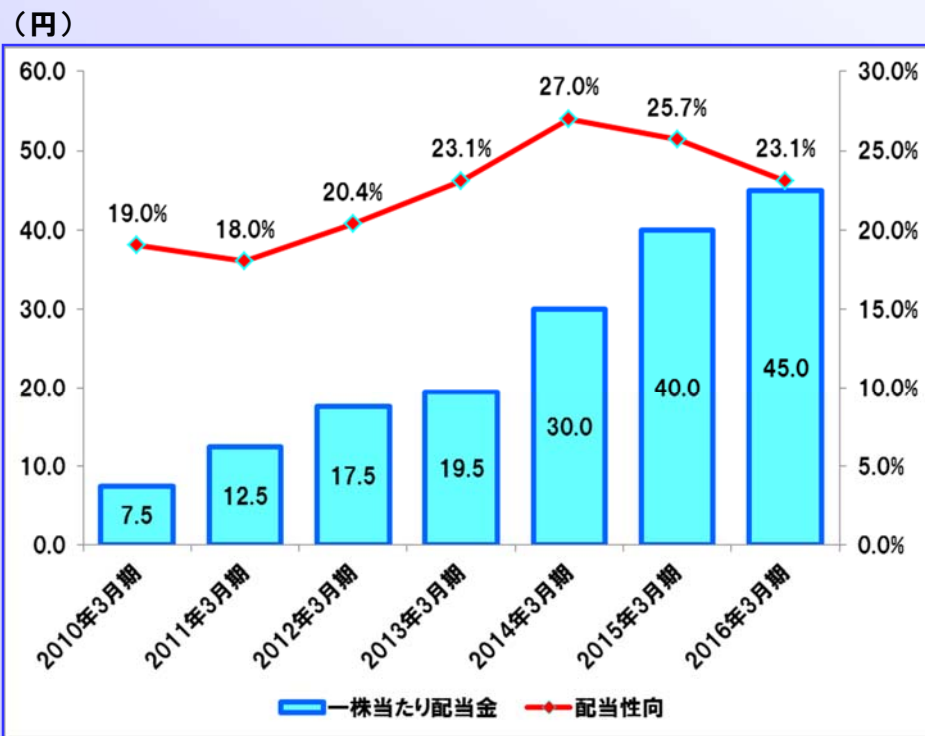
開発

画期的な高付加価値製品
の開発

持続的成長の実現

配当予想（株主還元について）

配当金と配当性向の推移



業績に応じた利益還元

（配当性向20%を目処）

- 2015年3月期の配当金は10円増配となる1株当たり40円
- 2016年3月期は増益を見込むため1株当たり45円を予定
（業績予想に対する配当性向は23.1%）

※ 2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

自社株買いではなく配当にウェイトを置く方針

過去5年間の業績と主要データ推移

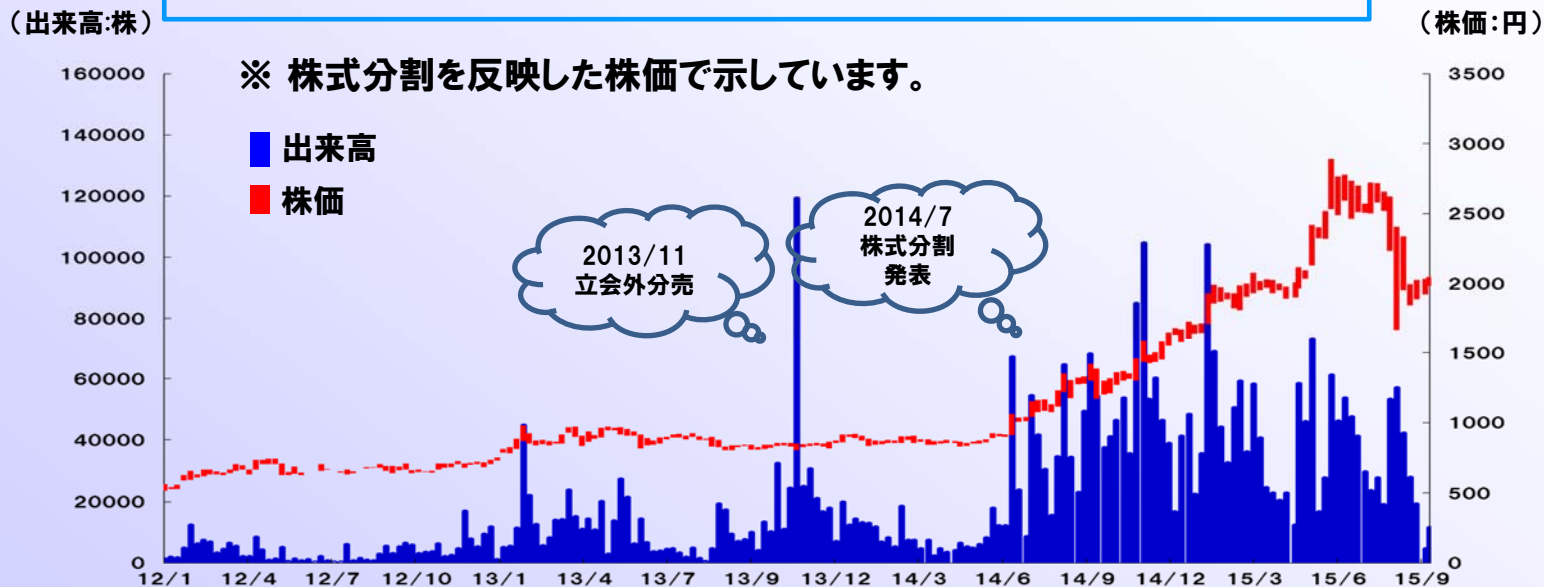
(百万円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
売上高	4,977	5,781	5,997	6,418	7,402
営業利益(率)	794 (16.0%)	962 (16.7%)	921 (15.4%)	1,069 (16.7%)	1,481 (20.0%)
経常利益(率)	834 (16.8%)	1,032 (17.9%)	951 (15.9%)	1,107 (17.2%)	1,534 (20.7%)
当期純利益(率)	426 (8.6%)	535 (9.3%)	527 (8.8%)	694 (10.8%)	973 (13.1%)
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	6,164	6,678	7,106	7,680	8,480
総資産額	7,143	7,906	8,297	9,075	10,339
自己資本比率	86.3%	84.5%	85.6%	84.6%	82.0%
設備投資額	274	1,051	1,001	469	612
減価償却費	440	471	563	534	474
1株当たり 配当金	12.5円	17.5円	19.5円	30円	40円
従業員数	206人	232人	281人	284人	281人

※ 2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週速ベース株価推移(2012年1月～2015年9月)



2014年10月1日に1株 ⇒ 2株の株式分割を実施

バリュエーション (2015年10月23日現在)

売買単位	: 100株	単元株価格	: 20万6,100円
時価総額	: 128億円	PER (16/3期予想)	: 10.74倍
ROE (15/3期実績)	: 12.0%	PBR (15/3期実績)	: 1.52倍

IR情報サイトのご案内



メニュー表示
 「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」
 ⇒メニュー名クリックで各ページに移動します
 それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの
 詳細ページ項目が表示されます
 （項目クリックで該当ページに移動できます）

投資家の皆様へ
 投資家の皆様に特にご覧頂きたいページをピックアップしています

IRニュース
 適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新の
 IR情報を掲載しています
 「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去の
 IRニュースをご覧いただけます

メニュー項目
 ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

URL: <http://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員管理部長 田島 寛
管理部IR担当 今関 弘毅 ・ 松尾 友紀子

TEL : 03-3763-5672
FAX : 03-3764-8225
E-mail : ir@ns-tool.com

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。